

One Control FLUORESCENT ORANGE AIAB

User Guide ユーザーガイド

CONGRATULATIONS ON YOUR PURCHASE!!!

このたびは、ワンコントロール、フルーレセントオレンジアンプインボックスをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本機の性能を十分に発揮するため、
また誤使用による不具合を防ぐためにこの説明書をよく読んでお使い下さい。



FLUORESCENT ORANGE AIAB (FOAIAB) は、70年代後期ごろによく使われた、生々しいディストーションサウンドを作る、70年代のヴィンテージオレンジの音を再現している。あの音はまさに不滅のディストーションサウンドだ。FOAIABは同じブリティッシュでも、Purple Plexifierよりも有機的な音がする。普通の歪みペダルのように、自由に試してみたい。

—— Bjorn Juhl

野生オレンジ、インボックス

私達は禁断の果実をこの小箱の中に詰め込むことに成功しました。

ジューシーに滴り落ちるその音はあなたの感性を潤し、そしてさらに新たな直感を引き出す手助けをすることを約束しましょう。

芳醇であり、ピターであり、そして何よりも魅力的なこの伝説の英国サウンドを
さあ、今あなたの足元に加えましょう。

One Control FLUORESCENT ORANGE AIAB

User Guide ユーザーガイド
CONGRATULATIONS ON YOUR PURCHASE!!!

このたびは、ワンコントロール、フルーレセントオレンジアンプインボックスをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本機の性能を十分に発揮するため、
また誤使用による不具合を防ぐためにこの説明書をよく読んでお使い下さい。

ロックギターの歴史を築き上げてきた、数多くのギターアンプの中、ひととき異彩を放つブリティッシュアンプ。美しいオレンジカラー、ギターアンプとしては珍しくポップなデザイン、レトロな雰囲気を持つそのアンプは、他のアンプとは違ったサウンドと共に、多くのプレイヤーの相棒としてステージに君臨してきました。

1968年に英国で始まったそのアンプメーカーは、70年代後半、スウェーデンでも多くのプレイヤーが使用していました。当時、特に多く使用されていたのは、“OD120”や“Graphic 120”というアンプです。前者はマスターボリュームコントロールを持つ“ハイゲイン”アンプとして、後者はクリアなトーンでもラウドな音を出せるアンプとして人気を博していました。

ハードロックやパンクロックが隆盛を迎え、ヘヴィメタルが産声を上げた70年代後半。当時の音楽シーンを賑わし、今でも多くのプレイヤーが求める、ギターサウンドをそのまま歪ませ、倍音成分が溢れでてアンプからこぼれ落ちるようなサウンド。それこそ、One Control FLUORESCENT ORANGE AIAB が作る音です。

FLUORESCENT ORANGE AIAB のコントロールは、まさにマスターボリュームを持つアンプのような構成です。アンプのプリアンプやゲインコントロールに相当する Level と、全体の音量に加えパワーアンプの飽和感を加えることもできる Master。2つのコントロールを組み合わせ、本物の真空管アンプのように音を作ることが出来ます。

FLUORESCENT ORANGE AIAB は、ギターサウンドを少し汚してバンドの中に馴染ませるようなダーティブースターから、ジャキとした質感のオーバードライブ、さらにはハードロックやクラシックメタルの領域にまで踏み込めるディストーションサウンドまでを自在に作ることが出来ます。
圧巻のレスポンスとダイナミックレンジにより、Level コントロールを楽曲中に使用する“最も強い歪み”に設定してしまえば、あとはギターの Volume 操作だけでクリーンから設定した最大の歪みまでを自由にコントロール可能。それも、ギターの Volume に合わせてスムーズに歪みが可変するため、忙しいプレイ中のゲインコントロールも簡単です。

ギターの Volume を下げたり、VOLUME コントロールを低く設定し、ほとんど歪みの無い状態に設定すると、まるで“歪まないチューブアンプ”をフルアップにしたような、独特の飽和感のあるクリーントーンが得られます。真空管が歪み出すギリギリのところを維持しながら、時々強いピッキングでオーバードロードするような、ジリジリとした熱いクリーントーンです。
どこまでも音楽的で奥行きのある“ダーティな”クリーントーンは、高めのキーのヴォーカルを素晴らしく引き立てることが出来ます。実際、クリアな高音のヴォーカルを擁する UK ロックバンドや、女性ヴォーカルのロックバンドのステージでは、よくオレンジ色のアンプを見ることができます。

そのままゲインを高めていくと、太くジリとしたオーバードライブサウンドが鳴り響きます。リードギターのトーンから、クラシックハードロックのリフや刻みなどにも最適な音色です。
PRESENCE コントロールを設定することで、シングルコイルに太さを与えたり、甘いトーンのハムバッカーにエッジや豊かな倍音を加えるような使い方も可能です。

そしてゲインが最大近くになると、FLUORESCENT ORANGE AIAB は分厚い壁が高くそびえるようなディストーションサウンドへと変わります。圧倒的な倍音成分と、ずっしりと太いローエンド、そして暖かなミッドレンジ。ギターの持つ全帯域が歪んだようなアグレッシブなトーンは、ハードロックやクラシックメタル、さらにはストーンロックなどにも最適なトーンです。目の前に音が圧となって迫ってくるような感覚は、なかなか味わえるものではありません。

FLUORESCENT ORANGE AIAB は独特の歪みを作りますが、音楽的でダイナミックレンジが広く作られているため、シンプルで扱いやすいペダルです。クリーンなトランジスタアンプやアメリカンコンボからブリティッシュスタックまで、多くのアンプと組み合わせることが出来ます。ペダルボード内でも設置場所を選ばず、シンプルな3ノブコントロールで多くの歪み系エフェクターと同じように扱うことができます。

●特徴

- ・70s 後半の“オレンジ色のアンプサウンド”を作るオーバードライブ/ディストーションペダル
- ・細かな表現に対応する高いレスポンス
- ・歌モノのバックに最適な“少しダーティな”クリーントーン
- ・独特の存在感を際立たせるオーバードライブサウンド
- ・ハードロック、クラシックメタルやストーンロックまで到達するディストーションサウンド
- ・他のペダルや様々なギター、アンプ等と組み合わせても使用可能
- ・アルミ削り出しのハイクオリティなミニサイズケース
- ・電池内蔵も可能
- ・トウルーパーパススイッチング

●コントロール

- ・VOLUME: アンプのプリアンプにある Volume や Gain コントロールのように動作します。歪みの強さや音量をコントロールします。
- ・PRESENCE: 高域の音色を調整します。倍音成分の出方なども変わります。
- ・MASTER: パワーアンプセクションにあるマスターボリュームコントロールのように動作します。全体の音量に加え、歪みの質感や強さも変化します。

●Specification

インプットインピーダンス: 500K
アウトプットインピーダンス: 25K
駆動電圧: 9V
消費電流: 2mA
S/N比: -80dB
サイズ: 39Wx100Dx31H mm(突起含まず)
47Wx100Dx48H mm(突起含む)
重量: およそ 160グラム(電池挿入時 200グラム)
※電池は付属しません。

制作: LEP INTERNATIONAL 〒025-0098 岩手県花巻市材木町 12-19 TEL: 0198-23-6600